

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2970103392
法人名	有限会社トミ
事業所名	グループホーム どんぐり
所在地	奈良市中山町1748-1 (電話) 0742-52-5881

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	橿原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年10月29日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	17年	11月	1日
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	13人	常勤	2人	非常勤 13人, 常勤換算 5,8

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	1階建ての 1階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	90,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(252000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1		名	要介護2	2名		
要介護3	4名		要介護4	3名		
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	84歳	最低	77歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	中島クリニック
---------	---------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者等のこれまでの認知症介護の豊かな経験を通じ、グループホームの必要性を認識し、研究・研修を重ね理念や方針についても検討し開設されたホームです。「家庭的な環境の下で安心と尊厳のある生活を支援する」を理念のポイントとして掲げ、一人ひとりの生活歴、性格、思いを十分把握し、その人を丸ごと受けとめられています。本人が毎日居心地いいと感じて過ごすためのケアとは、どのような暮らしかを職員一同常に、本人の立場に立って追求されています。実際、ケアは大変きめ細かく、医療との連携、見える介護者、家庭的な雰囲気、家族とのコミュニケーション、充実したアクティビティ、地域の子供たちとの交流等に力を注ぐ様々な工夫や配慮、研究が見られます。周囲には、緑が多く残された町の中に立地しており、スーパーや商店、公園等へ毎日出かけ、小学校始め近隣の学校等の地域資源との関係を築き、それらに支えられています。職員の熱い思いと家族の信頼関係、地域の方とのふれあいの3つのキーワードが揃い、まさに住み慣れた町で当たり前の暮らしを実践されているホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題として、水分チェックや緊急時の対応については、それぞれ、チェック表及びマニュアルを作成する等改善されていますが、職員研修の実施については更なる取り組みが期待されます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の必要性や意義を認識されており、サービスの質の向上を点検する機会と捉え、評価結果を、職員と共有し、周知・徹底し改善への取り組みを前向きに取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議も2回開催され、家族代表、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員等幅広い立場の人の参加を得て、提供しているサービスの内容や状況及び評価について報告し、委員から意見をj得てサービスの改善に取り組まれています。また、地域との交流や現状の情報を得られる貴重な機会と捉え、積極的に活用されています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議にも、家族が参加され、要望や希望を聞く機会として活用されています。また、面会時はホームから声かける等言いやすい雰囲気作りに留意されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	管理者等は地元出身であり、地域と深い関わりがあり、地域に対して開設時より積極的に理解・協力を得る努力がされています。地域の小学校等の教育施設にも、ホームの行事を案内し、地元との交流を深めるよう体験学習等もされる等、交流されています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な環境の下で安心と尊厳のある生活を支援する」とこととした理念を作られています。		地域密着型サービスの趣旨を認識されていますので、地域社会の一員として積極的に住民との交流などを基本姿勢として運営理念を作よう検討されてはいかがでしょうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングで、理念を職員全体で話し合う等、理念共有化に取り組まれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者等は地元出身であり、地域と深い関わりがあり、地域に対して開設時より積極的に理解・協力を得る努力がされています。地域の小学校等の教育施設にも、ホームの行事を案内し、地元との交流を深めるよう体験学習等もされる等、交流されています。		地域密着型サービスは、利用者が地域とのつながりながら暮らしていくことを積極的に支えるサービスであることから、地域との交流をホームにとって必要な時だけ行うのではなく、ともに暮らす地域住民の一員として、地域で必要とされる活動や役割を担う取り組みも検討されてはいかがでしょうか。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義・目的についても正しく理解され、評価結果も全職員で検討し、サービスの質の改善に向けて取り組まれています。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議も2回開催され、家族代表、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員等幅広い立場の人の参加を得て、提供しているサービスの内容や状況及び評価について報告し、委員から意見をj得てサービスの改善に取り組まれています。また、地域との交流や現状の情報を得られる貴重な機会と捉え、積極的に活用されています。		これまで6月に1回開催することとされていますが、運営推進会議は、地域の人々に提供しているサービスの内容等を明らかにし、評価を受け、要望、助言等を聞く機会とすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的として設置するものであり、よりサービスの質の向上に向けておおむね2月に1回以上開催することが望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に行政に相談・報告をされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には、毎回現状等を報告し、面会が少ない家族には1月に1回は電話で報告するようにされています。ホーム通信には、ホーム内の生活状況・イベントの写真が多くみられ、利用者の生活の様子が明確に伝えられています。状況に変化がある場合はその都度、家族に伝えるようにしています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にも、家族が参加され、要望や希望を聞く機会として活用されています。また、面会時はホームから声かける等言いやすい雰囲気作りに留意されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動による利用者へのダメージが大きいことを認識されており、馴染みの関係を大切にされ、開設時より勤務者の異動は出来る限り少なくする等配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	週1回の施設内研修を実施し、基礎知識は習得できる機会を設けられています。		職員のスキルアップを図るため、施設外研修を積極的に取り入れらる事を期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業者の交流を積極的にされています。また、利用者も含めた交流をされています。他施設の見学等を実施され、質の向上に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用前に、日中体験利用し、馴染めるかどうかの判断の上、本人・家族が納得して利用されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者の得意分野・能力が十分発揮できる機会を設けるようにされています。職員も利用者と一緒に働く・共感する関係づくりに努力されています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	日頃のコミュニケーションの中から今何をしたいのかを常に察知し、実現出来るよう努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者・家族の意向を十分聞き、職員とのミーティングや往診時の医師とのカンファレンスにて意見・アイデアを取り入れ作成されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的に期間を定め見直しをする他、状況に変化がある時は、職員・医師・家族が話し合い状況に即して見直しされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が希望される場合は、他の事業所のデイサービスの利用を支援する等、柔軟に対応されています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームのかかりつけ医は24時間体制の協力医院とされていますが、今までかかっている医師を継続するか否かは利用者・家族と十分話し合いを行い決定されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、ホームが対応しうる最大のケアについて家族に説明されています。急変時の対応についても、医師・家族と相談し方針を共有されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員採用時に個人時情報の取扱いについて説明し、守秘義務について、誓約書を提出することとされています。居室に職員が入室する時は、必ず声掛けをされプライバシーを守よう配慮されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなスケジュールは設定されていますが、利用者の状態や希望にあわせて支援されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて配膳や、調理に自発的に参画されています。月2回のおやつ作りは、自主的に参加できる場面作りを設ける等されています。また、職員も利用者と同じ物を一緒に食べ、会話をしながら食事が楽しくなるよう支援されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日と時間は設定されていますが、午前・午後・寝る前と利用者の希望により、柔軟に対応されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内での生活において、調理・配膳・洗濯干し・野菜の収穫など楽しみごとを自主的に、役割を分担して行えるように支援されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気分転換やストレスの発散、五感の刺激の機会としての外出の必要性は認識されて、散歩は毎日出かける他、月に1から2回程度は、ドライブ等の外出をされています。		地域密着型サービスとなったことから、地域とのかかわりを深めることを検討されていますので、これまでの生活の継続として捉える外出や、利用者本位の外出支援も実現できるよあわせて検討されてはいかがでしょうか。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずにオープンにし、見守りを重視して支援されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を実施され、緊急地震速報を活用できる、対応マニュアルを作成し、対応訓練を実施されています。また、運営推進会議において災害時の対応について話し合われています。なお、災害発生に備え、ご飯、水等を確保されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量をチェックし、過不足がある方には、色彩豊かに、食が進むよう盛り付けを工夫する等、個別に対応されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の壁には毎月作成した作品を掲示し、ホームから見える畑や玄関には季節の草花を植える等季節感を醸しだすよう工夫されています。食事の時間には、テレビを消して食事が楽しくなるようされている他、利用者にとって不快にならないよう音量や照明を調整されています。食堂においてある机の配置も使いやすいよう工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用前に使用されていた、寝具、家具、時計、テレビ等の馴染みの物が持ち込まれ、本人や家族が相談しながら配置されています。		